

2023年フォーラム・ポーランド会議  
ポーランドのポピュラーカルチャー  
Polska kultura popularna

日時：2023年12月2日(土) 10:30-16:10  
場所：駐日ポーランド共和国大使館多目的ホール  
主催：フォーラム・ポーランド  
協力：ポーランド広報文化センター  
人数：先着120名 締め切り 11月29日(水)  
言語：日本語  
会費：一般：2,000円、大学学部生、高校以下の学校生徒：無料 \*昼食代込み

プログラム

午前の部：10:30-12:30

受付開始：10:00

総合司会：平岩理恵 (Rie Hiraiwa)・フォーラム・ポーランド事務局長  
開会の辞：田口雅弘 (Masahiro Taguchi)・フォーラム・ポーランド代表  
歓迎の挨拶：トマシュ・グヴォズドフスキ (Tomasz Gwozdowski)・駐日ポーランド共和国大使館参事官・駐日ポーランド共和国特命全権大使代理

\*記念撮影、各講演約30分、質疑応答約10分

11:10-11:50 講演1：ポーランドのポピュラーカルチャー 加須屋明子

12:00-12:40 講演2：ポーランドのゲーム パヴェウ・パフチャレク

昼食 12:40-13:40 \*主催者側が準備いたします。協力：Smok wawelski スモック バベルスキ <https://www.facebook.com/profile.php?id=100063754262308>

午後の部：13:40-15:40

講演3：ポーランドのヒップホップ 平井ナタリア恵美

講演4：ポーランドのファッション・デザイン ダリア三浦

講演5：ポーランドの食文化 サラーム海上

ミニリサイタル: 15:45-16:05

アレクサンデル・ヤニツキ映像上映+薮田翔一作曲演奏

EDGE (7分) 弦楽四重奏曲 \*2013年カジミェシュ・セロツキ国際作曲コンクール (ポーランド) での演奏・3位入賞曲 / アレクサンデル・ヤニツキビデオレター (10分) / AfterImages (3分) 映像作家アレクサンデル・ヤニツキと作曲家薮田翔一のコラボレーション曲。 協力：たつのアート実行委員会

閉会の辞: ウルシュラ・オスミツカ (Urszula Osmycka) ポーランド広報文化センター所長・参事官

## 登壇者紹介

### パヴェウ・ミレフスキ (Paweł Milewski) 駐日ポーランド共和国特命全権大使



1975年生まれ。1999年アダム・ミツキェヴィチ大学にて中国学修士号を取得後、1996年より首都師範大学（中国）、続いて1997年より廈門大学（中国）に留学。2003年ワルシャワ経済大学国際経済研究室研究課程（PG Dip）修了。1999年ポーランド共和国外務省入省。2000年よりアタッシュェ、三等書記官としてアジア・太平洋局にてアジア・太平洋諸国問題に従事。2003年から2009年にかけて駐中華人民共和国ポーランド共和国大使館にて二等書記官、一等書記官、参事官として勤務。2009年よりポーランド共和国外務省アジア・太平洋局 東アジア・太平洋課長、2011年よりアジア・太平洋局副局長を務める。2013年に駐オーストラリア・ポーランド共和国大使に就任する。この間、駐パプアニューギニア・ポーランド共和国大使を兼任。2017年ポーランド共和国外務省アジア・太平洋局局長に就任。2019年10月に駐日ポーランド共和国大使として来日。

\*当日は都合によりトマシュ・グヴォズドフスキ(Tomasz Gwozdowski)・駐日ポーランド共和国大使館参事官がご挨拶。

### ウルシュラ・オスミツカ (Urszula Osmycka) ポーランド広報文化センター所長・参事官



ワルシャワ大学日本学科卒業、専門は近現代日本史。1999年、文部省在外研修員として鹿児島大学で1年間日本語・日本文化研修、2002～2006年、九州大学法学部で学び、修士号（政治学）を取得。帰国後、在ワルシャワエジプト大使館、在ワルシャワ日本国大使館などに勤務。2009年、外務省のアジア・太平洋局に勤務。2011年、日ポ外交官交流プログラムに参加し、外務省欧州課でのインターンシップを修了。2012～2018年、駐日ポーランド大使館政治経済部で政治・報道問題、広報文化外交のプロジェクトを担当。2018年8月より、外務省大臣官房参事官。2021年9月、東京のポーランド広報文化センター長に就任。英語、日本語、フランス語に堪能。

### 加須屋明子 (Akiko Kasuya) フォーラム・ポーランド副代表



1963年兵庫県たつの市生まれ。京都大学大学院博士後期課程単取得満期退学（美学美術史学専攻）。ヤギェロン大学（クラクフ、ポーランド）哲学研究所美学研究室留学。国立国際美術館主任学芸員を経て、現在、京都市立芸術大学美術学部・大学院美術研究科教授。博士（文学）。専門は近・現代美術、美学。主な展覧会企画は「芸術と環境－エコロジーの視点から」1998年、「死の劇場－カントルへのオマージュ」2015年、「セレブレーション：日本ポーランド現代美術展」2019年など。2011年-2020年龍野アートプロジェクト芸術監督。2022年よりたつのアート実行委員会代表。主な著書『ポーランドの前衛美術—生き延びるための「応用ファンタジー」』（創元社、2014年）、『現代美術の場としてのポーランド—カントルからの継承と変容』（創元社、2021年）など。

**パヴェウ・パフチャレク (Paweł Pachciarek) アダム・ミツケヴィチ・インスティテュート**



多摩美術大学特別研究員(2021-2023年9月)。文学博士(大阪大学)。インディペンデント・キュレーター、美術評論家、時にパフォーマー。アダム・ミツケヴィチ大学(ポズナン、ポーランド)日本学専攻修士課程修了(2012年)。草間彌生の文学と美術との関係を扱った博士論文により大阪大学で博士号取得(2021年)。比較文学、美学、美術史の現代的問題に焦点を当てた研究を行い、社会関与型の美術活動や、フェミニズム、クィア・スタディーズ、歴史社会的再解釈など社会批判の分野の課題を研究対象とする。日本国内および海外、とりわけヨーロッパで現代美術のキュレーションを手がける。2017年よりポーランド共和国文化・国家遺産省の傘下機関で、ポーランドの文化・芸術の普及活動を行うアダム・ミツケヴィチ・インスティテュートの日本デスクを担当。主な著書『中欧・東欧の文化事典』丸善出版、2021年(分担執筆)、『Kusama Yayoi czyli obsesja kropek (草間彌生—水玉強迫)』Tako、2015年。

**平井ナタリア恵美 (Hirai Natalia Emi) 執筆家、翻訳家**



東京外国語大学ロシア・東欧課程ポーランド語学科卒業。現職はNGO広報。2013年よりブログ「Muzyka Polska〜ポーランドの音楽が好き♪〜」を開設し、ポップスやロック、ヒップホップなどのジャンルを中心にポーランドの音楽を紹介している。2014年発売『中央ヨーロッパ現在進行形ミュージックシーン・ディスクガイド』寄稿。2018年にポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリーのヒップホップを紹介する音楽ガイドブック『ヒップホップ東欧』を発表。音楽記事を度々寄稿するほか、ポーランド音楽をかけるDJとしても活動する。ポーランドと日本のミックス。

Muzyka Polska〜ポーランドの音楽が好き♪〜 <http://muzykapolskamuzyka.blogspot.jp>

Muzyka Polska twitter [https://twitter.com/Paula\\_muzyka](https://twitter.com/Paula_muzyka)

**サラーム海上 (Salam Unagami) DJ/中東料理研究家**



1967年生、群馬県高崎市出身、明治大学政経学部卒。中東やインド、ヨーロッパを定期的に旅し、現地の音楽シーンと料理シーンをフィールドワークし続けている。NHK-FMの世界ミュージック番組「音楽遊覧飛行エキゾチッククルーズ」のナビゲーター。J-WAVEの「Oriental Music Show」では2017年日本民間放送連盟賞ラジオエンターテインメント番組部門最優秀賞を受賞。『美味すぎる世界グルメ巡礼』『MEYHANE TABLE More! 人がつながる中東料理』ほか著書10冊。世界最大のワールドミュージックエキスポ「WOMEX 2023」にて日本人初となる審査員「7 SAMURAI」を務める。

<https://www.chez-salam.com/>

**ダリア三浦 (Daria Miura) グローバルマーケティングディレクター**



ユニチカトレーディング株式会社（大阪）勤務。「いつも別の道を探そうとしている！いつもワクワク！」がモットー。文化服装学院卒業後、ファッションデザイナー、マーチャンダイザーとして活動。日本のアパレル（特に機能性スポーツ分野）、テキスタイル市場、グローバルファッション業界に20年以上携わる。マーケティングディレクターMBA取得。プロジェクトマネージャー、研究開発スペシャリスト、市場戦略スペシャリスト、デザイン・ブランディング講師、ブランドコンセプトキュアリスト兼開発者、モデレーター、コミュニティ・

アクセラレーター、コンサルタントなどの肩書きを持つ。日本語、ポーランド語、英語、中国語、ロシア語に堪能。趣味はテニス、ヨガ、ロードサイクリング。

**アレクサンデル・ヤニツキ (Aleksander Janicki) 映像作家**



クラクフ（ポーランド）生まれ。クラクフ美術アカデミー卒業。数多くのマルチメディア・インスタレーションを手掛け、写真や映像作品、とりわけ双方向的な作品で知られる。2005年のあいち万国博覧会では建築家のクシシュトフ・インガルデンと共にポーランド館を手掛けた。ポーランドのテレビ局のために映像やアニメーションも提供。即興演奏集団HiQの設立者の一人。龍野アートプロジェクト2016, TAPinKra kowに招待出品、作曲家の薮田翔一と共に映像と音楽のコラボレーションを歴史ある醤油蔵にて実現した。クラクフ在住。

**薮田翔一 (Shoichi Yabuta) 作曲家**



兵庫県たつの市生まれ。2011年東京音楽大学大学院作曲科修了。第70回ジュネーヴ国際音楽コンクール作曲部門優勝。ウィーンコンチェルトハウス100周年作曲賞最優秀作品賞。2013年SORODHA国際作曲コンクール1位入賞。2013年カジミェシュ・セロツキ国際作曲コンクール3位入賞。第3回クロアチア国際作曲賞 NEW NOTE2位入賞。第78,79,80,81回日本音楽コンクール4年連続2位入賞。トロンボーンピース・オブ・ザイヤー2011作曲賞。2012年京都フランスアカデミーメシアン賞。2014年第3回高松国際ピアノコンクール課題曲委嘱作曲家。たつの市文化賞。兵庫県芸術奨励賞。文化庁長官表彰（国際芸術部門）。神戸新聞にコラム執筆、ジュネーヴ音楽院にて作曲のマスタークラス、東京大学「学藝饗宴」

ゼミナールにて講義、NHKカルチャーラジオにて「現代音楽講座」の講師を担当。作曲した曲はこれまで世界各国で演奏されている。小倉百人一首で歌曲（全100曲）をピアノ伴奏、弦楽四重奏伴奏で作曲するなど日本文化の発信につとめ、大型放射光施設 SPring-8 の実験行程を音楽にした曲が雑誌 Pen+の付録 CD になるなど、活動は多義に渡る。龍野アートプロジェクトで2013年より参加、2014年より音楽監督。東京在住。

松岡麻衣子 (Maiko Matsuoka) ヴァイオリニスト



桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業、同大学研究科修了。アンサンブル・モデルン・アカデミー (IEMA フランクフルト音楽・舞台芸術大学) にて研鑽を積み、これまでに様々な現代音楽演奏団体で、世界各地の音楽祭やコンサートに出演。日本現代音楽協会主催演奏コンクール「競楽 XI」2位。近現代作品の初演及び再演、録音を演奏活動の主軸に据える。クラリネット三重奏団フィディアス・

トリオ奏者。現在、東京成徳短期大学非常勤講師。

<https://www.maikomatsuoka.com/biography/>

篠原智子 (Tomoko Shinohara) ヴァイオリニスト



桐朋学園大学音楽学部弦楽器科卒業。同研究科修了。全日本学生音楽コンクール全国大会中学校の部第1位。摂津音楽祭にて金賞、大阪府知事賞を受賞。日本モーツァルトコンクール入賞。名古屋国際音楽コンクールにて奨励賞、ヤマハ賞を受賞。

これまでに、日本センチュリー交響楽団等と共演のほか、セイジ・オザワ松本フェスティバル、水戸室内管弦楽団等に出演している。これまでに、久保田良作、辻井淳、小栗まち絵、名倉淑子、堀正文の各氏に師事。現在、東京都交響楽団団員。

迫田圭 (Kei Sakoda) ヴァイオリニスト



東京音楽大学卒業。東京音楽大学大学院に給費奨学金を得て入学、修了。

東京音楽大学コンクール入選、第28回市川市新人演奏家コンクール弦楽器部門最優秀賞。プロジェクトQ第10章に参加。

若手作曲家の新作初演にも数多く携わっており、サントリーサマーフェスティバル内の芥川作曲賞選考演奏会ではソリストを務める等、精力的に活動している。

現在、おーけすとら・びとれ座にてコンサートマスターを務める他、ヴァイオリン、ヴィオラ奏者として多方面で活動している。

### 北嶋愛季 (Aki Kitajima) チェリスト



チェリスト、保育士、ライフコーチ。2018年よりバロックとモダン2台のチェロによる独奏演奏会を東京・フランクフルト・ミュンヘンで定期的に開催し、より広く深いチェロの魅力を伝えているほか、国内外の現代音楽祭・演奏会に出演するなど精力的に活動。出身の千葉県浦安市ではアンサンブル ciel として親子向けワークショップや演奏会も行う。今秋よりライフコーチとしても活動を開始。

<https://www.akikitajima.com/>

### 田口雅弘 (Masahiro Taguchi) フォーラム・ポーランド代表



1956年生まれ。環太平洋大学経済経営学部教授、岡山大学名誉教授。専門は、現代ポーランド経済史、ポーランド経済政策論。1984年、ワルシャワ中央計画統計大学 (SGPiS=現在のワルシャワ経済大学) 経済学修士学位取得卒業。1988年、京都大学大学院経済学研究科博士課程後期単位取得退学 (京都大学博士)。その後、岡山大学経済学部教授、ハーバード大学ヨーロッパ研究センター(CES)客員研究員、ポーランド科学アカデミー(PAN)客員教授、ポーランド科学アカデミー(PAN)客員教授、ワルシャワ経済大学正教授、岡山大学学術研究院社会文化科学学域教授等を歴任。主要著書：『ポーランド体制転換論 システム崩壊と生成の政治経済学』(御茶の水書房、2005年)、『現代ポーランド経済発展論 成長と危機の政治経済学』(岡山大学経済学部、2013年)、『第三共和国の誕生 ポーランドの体制転換一九八九年』(群像社、2020年)。

<https://mstaguchi.wixsite.com/index>

## 参加申し込み方法

### 1. 参加登録

フォーラム・ポーランドのホームページ「CONTACT」のページからお申し込み下さい。

<https://forumpoland.org/contact/>

お問い合わせ種別：その他

お問い合わせ内容：「会議参加を希望します。」とお書きください。

または、メールでお申し込みください。

メール宛先：forumpoland2023@gmail.com

件 名：フォーラム・ポーランド2023年会議参加申込

本 文：会議参加を希望します。氏名（Name（例）YAMADA, Ichiro）、所属・専門（任意）

- ・参加を申し込まれた方にはEメールで返信いたします。お申し込みは、会場収容人数（コロナ対応）の上限（120名）に達した時点で締め切らせていただきます。
- ・メールには必ず返信します。48時間以内に返事がない場合には、恐れ入りますが再度CONTACTからメールをお送りいただくか、mstaguchi@gmail.comにご連絡ください。

### 2. 参加費振込

参加受付完了の返信がありましたら、下記のいずれかの方法で参加費を納入ください。なお、参加受付完了の返信を待たずして参加費を振り込まないで下さい。定員を超えた場合は、受付終了の返信をいたしますので、ご了承ください。

参加費は、一般の方2,000円、大学学部生、高校以下の学校生徒の方1,000円です。会議前日までにお振り込みください。

クレジットカードで決済する

フォーラム・ポーランドのホームページ「BOOKS/DONATION」のページ下部の[寄付]をクリックします。

[https://forumpoland.org/books\\_donation/](https://forumpoland.org/books_donation/)

Syncableのページに移動しますので、画面のカード決済を選択し、寄付金額2,000円（学生・生徒1,000円）を選択してカード情報を打ち込んで下さい。

なお、併せてご寄付もお願いしております。2,000円を超える額をお振り込みいただきました場合は、2,000円を参加費、それを超える額をご寄付として受領させていただきます。

口座に振り込む

下記の口座に参加費をお振り込みください：

三菱UFJ銀行岡山支店 口座名義：フォーラム・ポーランド 口座番号：（普）0573439

領収書が必要な場合は、会議当日受付でお声がけください。

なお、併せてご寄付もお願いしております。2,000円を超える額をお振り込みいただきました場合は、2,000円を参加費、それを超える額をご寄付として受領させていただきます。

## その他

事前申し込みがないと大使館に入館できませんので、必ず事前申し込みを行ってください。当日はこちらで事前に登録した名簿で氏名の確認をさせていただきますが、大使館のセキュリティの関係上、必要に応じてスマホの返信メール等の確認をさせていただくことがあります。

## フォーラム・ポーランドへのご寄付のお願い

フォーラム・ポーランドは、2022年9月にNPOから任意団体に変更され、それに伴い、賛助会員制度も廃止されました。今後はご寄付のみによって運営されます。

現在、ホームページの作成等により、数十万円の赤字の状態です。大変厳しい財政状況ですので、皆様のご支援を是非よろしく願いいたします。

今後の活動としては、引き続き毎年学際的なテーマで会議を行うとともに、会議録、ポーランド文学古典叢書、ポーランド史叢書、ポーランド声楽曲選集等を編纂、発行していく予定です。また、ホームページを通じて積極的に情報を提供していくと同時に、ポーランド関係諸団体との有機的なネットワークを構築してまいります。将来的には、ポーランド関係データベースの拡張、ポーランド図書館の設立、翻訳、通訳サポートの拡充などを図って行きたいと考えており、そのために書籍販売や寄付を募る活動を推進していきたいと思っております。当面、100万円を目標に寄付を募っています。

ご寄付にあたっては、ホームページからカード決済することにより、いつでも気軽に寄付をし、フォーラム・ポーランドの活動を支援することができます。もちろん、銀行振込も受け付けております。

皆様の暖かいご支援をよろしく願いいたします。

### クレジットカードで決済する

フォーラム・ポーランドのホームページ「BOOKS/DONATION」のページ下部の[寄付]をクリックします。

[https://forumpoland.org/books\\_donation/](https://forumpoland.org/books_donation/)

Syncableのページに移動しますので、画面のカード決済を選択し、任意の寄付金額を選択してカード情報を打ち込んで下さい。カード決済は、1回につき1,000円から50,000円の範囲でご寄付額をお選びいただけます。1回につき50,000円を超えるご寄付は、銀行口座にお振り込みをお願いしております。

### 銀行口座に振り込む

下記の口座に参加費をお振り込みください：

三菱UFJ銀行岡山支店 口座名義：フォーラム・ポーランド 口座番号：(普) 0573439

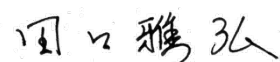
### 注意：

- カード決済のご寄付は、1回につき50,000円までです。1回につき50,000円を超えるご寄付は、お手数ですが銀行口座にお振り込みいただくか、カード決済の場合は数回に分けてお振込みください：  
三菱UFJ銀行 岡山支店 口座名：フォーラム・ポーランド (普) 0573439
- 大変申し訳ありませんが、フォーラム・ポーランドへのご寄付は税金控除の対象ではありません。



- 寄付口座はフォーラム・ポーランド2023年会議と同じ口座になります。会議の期日までにご寄付いただく場合、または会議参加費と一緒にご寄付いただく場合などは、大変お手数ですが、ご寄付の旨、フォーラム・ポーランドのホームページ「CONTACT」のページからご一報いただくと幸いです。  
<https://forumpoland.org/contact/>

フォーラム・ポーランド代表



<https://forumpoland.org/>